

# かはくスクールプログラム「骨ほねウォッチング」プログラムガイド

令和2年度4月

国立科学博物館 学習課学校連携担当

## プログラム展開 (45分)

| 時間            | ■学習活動  |
|---------------|--|
| 10分           | <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">導入</div> <p>○ボランティア・職員自己紹介</p> <p>■学習テーマと活動内容の確認</p> <p>○テーマ「骨ほねウォッチング」</p> <p>○活動について</p> <p>(1)骨格標本の扱い方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①こわさない。</li> <li>②混ぜない。</li> <li>③袋に入っている骨（※肋骨）は出さない。</li> <li>④組み立ては立って行い、イスはテーブルの下に入れる。</li> </ul> <p>(2)組み立てのヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①自分の体をさわって確かめながら組み立てる。</li> <li>②骨と骨がつながる部分に注目する。</li> <li>③大きな骨から組み立てる。</li> <li>④頭骨は進行役側に仰向けに配置する。</li> </ul> |
| 10分<br><br>5分 | <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">分離骨格標本の組み立て①</div> <p>■各テーブルで分離骨格標本の組み立てを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">分離骨格標本の組み立て②</div> <p>■全身交連骨格標本を参考に、分離骨格標本の組み立てを完成させる。</p> <p>○全身交連骨格標本の骨の向きやつながりに注目する。</p>   |
| 20分           | <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">まとめ</div> <p>■骨のつくりとはたらきについて理解する。</p> <p>○クイズ形式にて、骨のつくりとはたらきについて確認する。</p> <p>⇒人の体にはたくさんの骨があり、体を支えたり、守ったり、動かしたりしている。</p> <p>■アンケートを記入する。</p> <p>○館内の関連展示について知る。</p> <p>○プログラム終了の挨拶</p>   |